

令和 7 年度

秋田自動車道
湯川橋基本詳細設計

特記仕様書（案）

令和 7 年 4 月

東日本高速道路株式会社
東北支社横手工事事務所

第1章 総則

1-1	調査等概要	1
1-2	適用する共通仕様書	1
1-3	テクリスへの登録	1
1-4	履行期間	2
1-5	資料の貸与	2
1-6	受注者相互の協力	3
1-7	発注者または監督員が行う協議	3
1-8	計画工程表	4
1-9	調査等打合簿の作成及び提出について	5
1-10	工事記録情報の作成及び提出について	5
1-11	三者協議会について	5
1-12	ウィークリースタンスの取組み	6

第2章 業務細部に関する事項

2-1	設計条件	7
2-2	構造物設計	7
2-3	附帯工設計	9
2-4	設計打合せ	9
2-5	交通費・日当・宿泊費	9
2-6	成果品に関する細部事項	9

第3章 補足事項

3-1	設計図書の変更及び追加が予想される内容	10
3-2	3次元モデルの作成について	10

添付資料

- 様式-1 設計工程表（案）
- 様式-2 履行期間通知書
- 様式-3 工事記録情報 完了届

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 秋田自動車道 湯川橋基本詳細設計

1-1-2 道路名 秋田自動車道

1-1-3 履行箇所 自) 岩手県和賀郡西和賀町上野々 (S T A. 1 7 7 + 2 1 . 0 0)
至) 岩手県和賀郡西和賀町上野々 (S T A. 1 8 0 + 5 3 . 0 0)

1-1-4 主な履行内容	構造物設計	上部工設計	1 連
		橋台設計	2 基
		橋脚設計	4 基
		基礎工設計	3 基
		仮設構造物設計	土留工 (8 m未満) 3 箇所
			土留工 (8 m以上) 1 箇所
			一重締切工 2 箇所
			特殊作業台 1 箇所
		動的解析	1 連
	附帯工設計	詳細図作成	9 枚

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和6年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

(1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

(2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内

(3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1－4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1－1 3「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（様式－2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 6 0 日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 6 0 0 日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

1－5 資料の貸与

共通仕様書 1－1 5－1 及び 5－2－3「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中の調査等業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備 考
完成図（Ⅰ期線）	—	契約締結の 日の翌日よ り 7 日以内	紙または 電子成果品
付加車線検討業務報告書	平成25年度 東北支社管内 付加車線検討業務		
	平成30年度 東北支社管内北 道路構造検討業務		
測量成果品 （Ⅱ期線）	秋田自動車道 小荒沢～湯田路線測量		

	秋田自動車道 西和賀地区詳細測量	契約締結の 日の翌日より7日以内	紙または 電子成果品
土質地質調査報告書 (Ⅰ期線)	秋田自動車道 川尻・小繋沢地区構造物基礎調査		
	東北横断自動車道 川尻地区第一次地質調査		
土質地質調査報告書 (Ⅱ期線)	秋田自動車道 湯田地区構造物基礎調査		
工事用進入路検討 (Ⅱ期線)	秋田自動車道 北上西～湯田間施工計画検討業務		
工事用道路測量設計 (Ⅱ期線)	秋田自動車道 西和賀地区工事用道路測量設計		
橋梁基本詳細設計成果品 (Ⅰ期線)	秋田自動車道 湯川橋計画設計		
	秋田自動車道 湯川橋基本詳細設計		
橋梁概略形式検討 (Ⅱ期線)	秋田自動車道 湯田西地区橋梁形式検討業務		

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏期休暇（3日）を除く。

1-6 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	備考
秋田自動車道 湯田他2トンネル詳細設計	令和6年4月25日～ 令和7年10月16日	大日コンサルタント株式会社	設計資料の 共有・調整

1-7 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書1-16「関係官公署及び関係会社への手続」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

(1) 道路関係

位置	路線名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
STA. 179+00.00～ STA. 180+00.00	町道 (法定外道路)	西和賀町	交差協議	2026年12月
STA. 180+20.00～ STA. 180+60.00	県道湯川温泉線	岩手県 北上土木センター		2026年12月

(2) 河川、水路関係

位置	河川・水路名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
STA. 177+21.00～ STA. 180+53.00	一級河川 小鬼ヶ瀬川	東北地方整備局 北上川ダム統合 管理事務所	河川区域内作業 に関わる協議	2026年12月
STA. 180+20.00～ STA. 180+60.00	農業用水	西和賀町	橋梁工事に関わ る協議	2026年12月

1-8 計画工程表

1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」(2) に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式一1)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書 1-7 「発注者または監督員が行う協議」に示す協議完了予定時期、共通仕様書 1-9-3 「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	対象構造物	項目	備考
構造物設計	湯川橋	上部工設計	
		橋台設計	
		橋脚設計	
		基礎工設計	
		仮設構造物設計	
		動的解析	
附帯工設計		詳細図作成	
打合せ等		報告書作成	
		設計打合せ	

1-8-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書1-2-2「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第1-4号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書1-1-4-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1-9 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書1-2-2「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後7日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後7日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1-10 工事記録情報の作成及び提出について

（1）共通仕様書1-4-4-1「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和6年7月版とする。

（2）受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式-3）を調査等完了届提出予定の2週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

（3）工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路㈱東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1-11 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者との間で協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

1-12 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における業務の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を遂行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取り組むこととする。

取組内容は、下記事項を標準として契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者とで協議のうえ実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が発生した場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議のうえ定めるものとする。

【取組み事項】

- ① 月曜日を依頼の期限日としない（マンデー・ノーリフト）
- ② 水曜日は定時の帰宅に心掛ける（ウェンズデー・ホーム）
- ③ 土・日曜に休暇が取れるように金曜日には依頼しない（フライデー・ノーリクエスト）
- ④ 昼休みや午後5時以降からの打合せをしない（ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング）
- ⑤ 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない（イブニング・ノーリクエスト）
- ⑥ 金曜日でも定時の帰宅に心掛ける。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 設計条件

業務の設計条件は、次のとおりとする。

- (1) 道路規格 : 第1種 第3級 B規格
- (2) 設計速度 : $V = 80 \text{ km/h}$
- (3) 車線数 : 暫定2車線供用後の完成4車線
- (4) 上下区分 : 下り線 (片車線独立)
- (5) 有効幅員 : 9.56 m
- (6) 車線幅員 : 3.50 m
- (7) 設計荷重 : B活荷重

2-2 構造物設計

2-2-1 基本設計

(1) 上部工

本設計は次に示すとおりに行うものとする。

橋梁名等	構造物 種別	延長 (m)	斜角 (°)	曲線	非対 称形	幅員の 増減 補正	将来の 拡幅 考慮	現状の 拡幅 設計	類似構 造物 区分
湯川橋	P C 5 径間 連続箱げた	332.0	90	有 (曲線 桁として 設計)	非対 称形 (I)	無	無	無	A

(2) 動的解析

本設計では次に示すとおりに耐震安全性を照査する目的で動的解析を行うものとする。動的解析は非線形性を考慮した時刻歴応答解析によるものとする。なお、検討の結果、支承条件が変更となった場合は、別途監督員と協議する。

橋梁名等	上部工形式	径間数	支承形式	橋脚形式	備考
湯川橋	P C 5 径間連続箱げた	5 径間	剛結・支承	柱式橋脚	

2-2-2 詳細設計

(1) 下部工

本設計は次に示すとおり行うものとする。

内訳書の項目	橋梁名等	構造物種別	高さ(m)	斜角(°)	非対称形	幅員の増減補正	将来の拡幅考慮	現状の拡幅設計	類似構造物区分
A	湯川橋 A 1	逆T式橋台	15.0	90	無	片車線 独立	無	無	A
B	湯川橋 A 2	逆T式橋台	12.0	90	無	片車線 独立	無	無	A
A	湯川橋 P 1	柱式橋脚 (張出無)	24.5	90	無	無	無	無	A
B	湯川橋 P 2	柱式橋脚 (張出無)	21.5	90	無	無	無	無	B
C	湯川橋 P 3	柱式橋脚 (張出無)	10.0	90	無	無	無	無	A
D	湯川橋 P 4	柱式橋脚 (張出無)	9.5	90	無	無	無	無	C

(2) 基礎工

本設計は次に示すとおり行うものとする。

橋梁名等	構造物種別	備考
湯川橋 P 3 橋脚、P 4 橋脚	場所打ちぐい (機械掘削)	
湯川橋 A 1 橋台	場所打ちぐい (深礎ぐい)	

(3) 仮設構造物設計

仮設構造物設計は、下部工工事の施工に要する仮設構造物の設計を行うものであり、設計位置および内容は次に示すとおりとする。現地踏査、施工計画及び関係機関との協議等の結果、対象箇所及び構造物種別の変更、追加及び削除となった場合の取扱いについては監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

番号	対象箇所	構造物種別	備考
①	湯川橋 A 1 橋台部	土留工 (8 m以上)	
②	湯川橋 P 1 橋脚部	一重締切工	

③	湯川橋 P 2 橋脚部	一重締切工	
④	湯川橋 P 3 橋脚部	土留工（8 m未満）	
⑤	湯川橋 P 4 橋脚部	土留工（8 m未満）	
⑥	湯川橋 A 2 橋台部	土留工（8 m未満）	
⑦	湯川橋 A 1 ～ P 1 間	特殊作業台	

2－3 附帯工設計

2－3－1 詳細図作成

詳細図作成は、次に示すとおり行うものとする。

内訳書の項目	図面種類	枚数	難易度	簡易な 応力計算	備考
用排水工詳細図作成	排水工図	4	普通	無	P 3 ～ A 2
のり面工詳細図作成	護岸工図	1	普通	無	P 2
設計協議説明用図面作成	道路協議説明用図面	2	普通	無	P 4 ～ A 2
	河川協議説明用図面	2	普通	無	P 1、P 2

2－4 設計打合せ

本業務における打合せの回数は業務内容確認検査・完了検査を含め、7回とする。打合せの検測数量は1式とし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。また、当初打合せ時には現場踏査を実施するものとし、この費用については別途計上しないものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社横手工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

なお、完了検査はWEB方式により行うものとする。ただし、WEB方式による実施が困難な場合は、対面方式による実施について別途監督員と協議するものとする。

2－5 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費には、設計打合せに必要な交通費・日当・宿泊費を含むものとする。なお、設計項目及び数量が増減しても、交通費・日当・宿泊費の変更は行わないものとする。

完了検査はWEB方式にて行うため交通費・日当・宿泊費の費用は計上しないものとする。なお、協議により完了検査がWEB方式から対面方式に変更になった場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

2－6 成果品に関する細部事項

業務の成果品提出部数は、共通仕様書1－46－5に基づくものとし、報告書の表紙は、黒色、金文字製本とする。

第3章 補足事項

3-1 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、関係機関との協議・現地状況等により変更または追加する可能性があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

- (1) 河川管理者等との協議による橋台及び橋脚施工位置の変更
- (2) 河川管理者等との協議による護岸工・水制工等の変更及び追加
- (3) 河川管理者等との協議による用排水構造物等の追加
- (4) 施工または支障物移転等に関する詳細図作成の追加

3-2 3次元モデルの作成について

監督員は、本設計成果物の一部として、C I M (Construction Information Modeling /Management) に基づく取り組みを指示する場合がある。その場合においては、受注者は監督員の指示に従うものとし、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

1 設計業務

[illegible]

2 関連業務資料

[illegible]

3 貸与資料

[illegible]

4 關係機關協議

[illegible]

4 その他懸案事項

[illegible]

5 協議内容、結果等

協議内容経緯等	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

[illegible]

6 照查内容

照査時期、照査内容、照査結果	照査① ・照査時期：基本条件、設計条件検討時 ・照査内容：基本条件の照査 ・照査結果：	照査② ・照査時期：設計方針、最終形式案決定時 ・照査内容：細部条件の照査 ・照査結果：	照査③ ・照査時期：成果品納入前 ・照査内容：成果品の照査 ・照査結果：
----------------	---	--	--

様式－2

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 秋田自動車道 湯川橋基本詳細設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

監督員 _____ 殿

受 注
管理技術者 _____ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名	東日本高速道路(株) 東北支社 横手工事事務所		
調 査 等 名	秋田自動車道 湯川橋基本詳細設計		
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。